

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-534118 (P2004-534118A)
【公表日】平成 16 年 11 月 11 日 (2004.11.11)
【年通号数】公開・登録公報 2004-044
【出願番号】特願 2002-585500 (P2002-585500)
【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 F 2/22

C 0 8 F 14/18

C 0 8 F 259/08

【 F I 】

C 0 8 F 2/22

C 0 8 F 14/18

C 0 8 F 259/08

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 18 日 (2005.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一種以上の気体状フッ化モノマーから誘導された反復単位を含むフルオロポリマーを製造する方法であって、ジメチルエーテル (D M E)、メチルターシャリーブチルエーテル (M T B E) およびそれらの混合物からなる群から選択されたエーテルの存在下での前記気体状フッ素化モノマーの水性乳化重合を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

フルオロポリマーであって、多峰分子量分布を有するとともに、40 で 70 時間にわたりメチルエチルケトン中に前記フルオロポリマーを放置することにより測定して 12 重量 % 未満の抽出性化合物を含むフルオロポリマー。

【請求項 3】

非晶質コアおよび半結晶質シェルを有するコアシェルフルオロポリマー。